

# 立体的英語活動モデルの発信

—共生社会の担い手を育成するための  
幼児英語活動プログラムの公表をめざして—

平成 22 年度『千代田学』事業プロジェクト報告書

大妻女子大学短期大学部英文科

井上 美沙子

守田 美子

池頭 純子

丸山 協子

平成 23 年 3 月

## 謝辞

早いものでこの千代田学プロジェクトも5年目となりました。この5年間、私共のプロジェクトを応援・ご協力くださいました大勢の方々への感謝をここで述べさせていただきます。

まず、このプロジェクトを採択してくださった、千代田区区民生活部、高山三郎部長、区民商工課、また我々のプロジェクトが主催・協賛・後援するイベントの広報活動を支援して下さる広報公聴課、千代田区教育委員会、教育指導課、ケーブルTV 東京ケーブルネットワークの皆様方に深く感謝させていただきます。また今年度は震災のため中止になってしまいましたが、千代田さくら茶まつりで行われる「さくら茶フェスティバル in 大妻」での千代田学報告会での発表に毎年来てくださる石川雅巳千代田区長の貴重なご意見やコメントもいつもありがたく思っております。

今年度は、家庭で、保護者がお子さんに気軽に読み聞かせができるよう、英語絵本のガイドブックを作成いたしました。このガイドブックで厳選した絵本は、どれも今までの4年間で研究員が千代田区内の区立幼稚園で行った英語活動プログラムで使用したものばかりです。モデル教育機関になることを引き受けてくださいました千代田区立お茶の水幼稚園及び同小学校、そして千代田幼稚園の皆さま方に、この場を借りて深く感謝の意を表させていただきます。

そして、私共のプロジェクトをいつも寛容に見守ってくださいます大妻学院と大妻女子大学短期大学部英文科及び英文研究室、大妻生活文化研究所の方々に感謝申し上げます。また視聴覚教材製作等でお世話になりました情報メディアセンターの皆さま、イベント開催に関するさまざまな業務や会計処理等を手伝ってくださった事務部の皆さま方、本当にありがとうございました。また昨年度まで千代田学事業報告をさせていただいた「さくら茶フェスティバル in 大妻」の関係者の皆さまにもお世話になりました。最後にこの5年に及ぶプロジェクト立ち上げの最初のきっかけを作ってください、初年度の主要メンバーとして多大な貢献をしてくださった、故山下榮先生、そしてお手伝いくださった、山下妙さんに深く感謝申し上げます。

井上 美沙子      守田 美子  
池頭 純子      丸山 協子

# 活動報告

## 0. はじめに

わたしたちは平成18年度より一貫して家庭と区立教育機関、そして大学と地域が連携して、次世代を担う幼児の国際性や社会性を養う素地づくりを行うという活動をこの千代田学事業プロジェクトとしてやってきた。家庭と区立教育機関の連携事業では英語の絵本の読み聞かせを通して、人間関係の絆を深めつつ英語の音に慣れ親しむことを行った。そして大学と地域の連携事業としては、大学で行う国際的イベントの数々を地域の人々に無料開放するという行ってきた。

今年度は、家庭と区立教育機関の連携事業としては、今までの事業の集大成として、家庭での英語の絵本読み聞かせをサポートするためのガイドブックを作成した。また、大学と地域の連携事業として今年も数々のイベントを開催した。以下は、これらの活動の概要である。

## 1. ガイドブック作成

英語指導が低年齢化するのに伴い、保護者の英語絵本およびそのガイドブックの需要が高まっていることにかんがみ、4年間の千代田学の活動で得られた知見をもとに、広く一般の保護者が幼児とともに英語を楽しむためのガイドブックを年間を通して作成した。

周知のように、英語の絵本は巷に溢れており、そのため、絵本の解説書やガイドブックの類も多く出版されている。しかし、その多くは、英語の運用能力育成に主眼が置かれており、単なる絵本の内容紹介にとどまっているものも少なくない。

私たちが平成18年度より行ってきた、千代田学事業プロジェクト「家庭と区立教育機関の連携による幼児英語活動プログラムの開発」では、家庭や幼稚園等で、保育者や友人達と一緒に英語の絵本の読み聞かせが、幼児の社会性や国際性を育成すると同時に異文化意識を高め、将来的に差別やいじめの抑制につながる可能性があることを主張してきた。従って、今回私たちは既存のものとは異なり、絵本の読み聞かせを通じて更に周囲の人々

との絆を深め視野を広げることを手助けするようなガイドブックを作り、興味ある区民の方々に無償配布することを企画したのである。

千代田学の4年間で使用した教材の中から、家庭で、保護者がお子さんに気軽に読み聞かせができるものを12冊選び、解説をつけた。絵本のすぐれている点は、単純なストーリーの中から、より深い人生への教訓やモラルを自然な形で子供に教えることができる点にある。従って、ただ楽しいだけでなく、社会性、国際性、モラル・マナー、異文化教育といった観点から、絵本を選んで分類することを心掛けた。また、家庭での読み聞かせはたとえどんなに短い時間であったとしても、毎日の親と子の心の交流の場として大切だと考えられるため、単に読み聞かせるだけでなく発展してさらに英語に親しむことができるように、簡単な英会話のヒント、英語と日本語の音の違い、英語圏と日本の文化の比較に関する記述や説明をつけた。

#### 1.1 作業日程

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 4月～7月 | 構想、アウトライン作成               |
| 8月    | ドラフト執筆                    |
| 9月～   | 原稿推敲、印刷業者との打合せ<br>著作権等の調査 |
| 1月～   | 装丁等の決定、原稿入稿<br>校正         |
| 3月    | 校了、完成                     |

#### 1.2 ガイドブック構成

**タイトル：** *A Guide to English Picture Books*

親子で楽しむ英語絵本 12カ月

～国際性・マナーやモラルを身に付けつけ、音を楽しむために～

**主旨：**

家庭で保護者が幼児に英語の絵本を読み聞かせる際に、指針となるようなガイドブック。英語の運用能力の育成よりも、社会性や国際性、異文化意識の育成等に役立つような観点から、絵本を選び解説をつける。

**テーマ：**

過去4年間行ってきたこの千代田学事業プロジェクトの趣旨をもとに次の3つのテーマを

設定した。

- 1) マナーやモラルを身につける
- 2) 国際性を養う
- 3) 英語の音や表現を楽しむ

上記の3つのテーマに基づき、平成18年度から平成21年度までに千代田学事業プロジェクトで使用した英語絵本の中から各テーマ4冊ずつ、計12冊を厳選したところ、下の表のようになった。

	マナー・モラル	国際性	音・表現
春	<i>Purple Monster</i>	<i>Is This My Nose?</i>	<i>Beep Beep</i>
夏	<i>Excuse Me</i>	<i>Brown Bear</i>	<i>Hand, Hand, Fingers, Thumb</i>
秋	<i>Teddy Bear</i>	<i>Have You Seen My Cat?</i>	<i>There Were Ten in the Bed</i>
冬	<i>David Goes to School</i>	<i>I Am a Bunny</i>	<i>Each Peach Pear Plum</i>

従って、この12冊をより親しみやすいように、12カ月に見立てた12章仕立てとし、春夏秋冬といった季節ごとに、3つのテーマを並行して繰り返し楽しめるように工夫をこらした。

### 1.3 ガイドブックの特徴

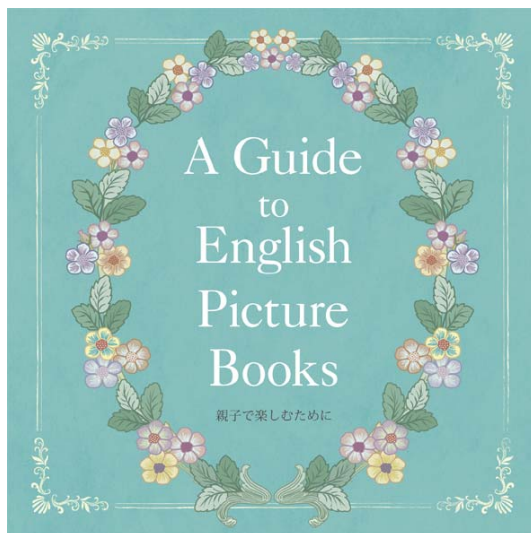
各章には、「あらすじ」の他に「おすすめのポイント」をつけ、それぞれの絵本の内容がすぐわかるようにした。加えて、「今月の表現のポイント」や「単語帳」「発音のポイント」をつけ、絵本に出てくる英語の単語や文の意味や発音の仕方などをわかりやすく解説した。更に、絵本に出てきた表現や内容に関係のある文を使って、日常生活の中で楽しく英語が使えるように、「親子で楽しく英会話」というコラムをつけたり、絵本に関係のある単語や文化的背景のお話しなどを紹介した「こぼれ話」のコーナーも設けた。絵本を読むにとどまらず、1冊の英語の絵本から世界へのグローバルな視野が広がることを期待している。以下にいくつかの項目に関しての特徴を簡単に挙げる。

#### 「発音のポイント」

日本人にとって苦手な発音とされている、[r] や[θ]、[v]などの音についての詳しい音声学の説明に加え、音の同化や脱落といった音韻現象についてもわかりやすく説明するようにした。また、頭韻、脚韻といった英語特有のリズムを生み出す音特性や、英語独特のイントネーションなどにも言及した。

## 「こぼれ話」

絵本に登場する基本単語に加えて、関連した単語や興味を持たれそうな単語を紹介した。具体的には、顔や体の細かい部位の表現や、特殊な動物の鳴き声などである。また、文化的背景を紹介するコラムもいくつかつけた。例えば、とりあげた絵本に出てくるマザーグースや昔話等の登場人物やオリジナルストーリーの紹介などをつけた。その他、日常生活におけるちょっとした習慣の違いやマナーの違いなどにも言及した。



# April

♥ マナー・モラルを身に付ける

ジュニア英会話 HAPPY TALK 1  
**THE PURPLE MONSTER**  
作/ Model Language Studio  
イラスト/ 林 亜三  
出版社/ 株式会社アスク

**あらすじ**  
紫色のお化けパープル・モンスターは、お友達をつくりたくてたまりません。でもパープル・モンスターに話しかけると誰も「わっ、お化けだ!」と驚いて逃げ出してしまいます。ひとりぼっちになったパープル・モンスターはどうやって泣き出していました。すると〜。

**おすすめのポイント**  
わたしたちは誰でも、自分たちと違っているものには恐れを抱き、そして仲間はずれにしようとする傾向があります。お化けに話しかけられたら、はじめは誰でもちょっと驚きますよね。でも、みんなと仲良くしたいお化けがいるのです。違うもの同士でも、お出合いよっ!と心を強いて受け入れてみることで、一緒に生きていくためのきっかけが生まれる。そういう難しいことをやさしく教えてくれる本です。

**今月の表現のポイント**  
あいさつの表現を覚えましょう。笑顔であいさつをすることは、誰とも仲良くするための一歩です。勇気を出して、ひとこと声をかける。そこから全てのコミュニケーションが始まります。  
Hello? How are you?  
I'm fine, thank you.

**単語帳**

purple	紫色(の)
monster	怪物、モンスター
look	見る
play	遊ぶ

**発音のポイント purple [a]**  
"purple"の発音に気を付けましょう。カタカナで書くと「パープル」になりますが、日本語の「パー」とは発音が全く違うことに注意してください。発音記号で書くと、[a]となりますが、舌を口の真ん中で、どこにも触れないようにして、舌に浮かせる感じにして唇を出す音です。

**こぼれ話**  
色の名前を覚えましょう。

白	white	淡緑	light green
黄色	yellow	緑	green
オレンジ	orange	水色	light blue
ピンク	pink	青	blue
赤	red	紫	purple
茶色	brown	黒	black

**親子で楽しく英会話** ~本の表現を使ってみましょう

Mat: Nice to meet you, Ken. My name is Mat.  
Ken: Nice to meet you too, Mat.

◎更に一歩進んで〜  
読んでいるお友達を英語でなぐさめる表現も覚えておきましょう。  
Hello.  
Don't cry. 「泣かないで。」  
Let's play together. 「一緒に遊ぼうよ。」

08
09

## 2. 地域貢献のための国際的イベント、催し

### 2.1 千代田学主催イベント

平成 22 年 10 月 30 日

千代田学レクチャーシリーズ VII

「アイルランドの家庭と教育施設における子育て事情」

講師：マーガレット・グラント（朝日カルチャーセンター東京英語講師）

場所：大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間：10:40～11:40



### 2.2 共催イベント

平成 23 年 3 月 9 日

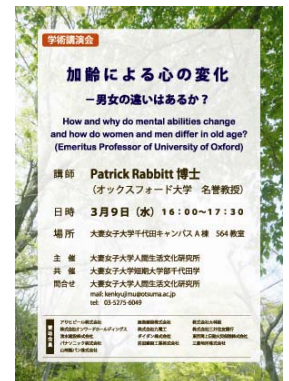
学術講演会「加齢による心の変化—男女の違いはあるか？」

How and Why do Mental Abilities Change and How do Women and Men Differ in Old Age?

講師：パトリック・ラビット博士（オックスフォード大学名誉教授）

場所：大妻女子大学 A 棟 564 教室

時間：16:00～17:30



＜以下のイベントは、東日本大震災のため、やむをえず中止となった。＞

英国人ピアニスト ローナン・マギルピアノリサイタル

平成 23 年 3 月 26 日

場所：大妻女子大学大妻講堂

時間：18:00 開演（17:30 開場）



## 2.3 協賛イベント

平成 22 年 12 月 4 日

英国大使館合唱団・大妻学院共催 英国大使館合唱団コンサート

場所：大妻女子大学大妻講堂

時間：18:00 開演（17:30 開場）

秋篠宮紀子様とデビッド・ウォレン駐日英国大使にご来場いただきました。



## 2.4 後援イベント

平成 22 年 10 月 30 日

英語であそぼう！ 「親子で親しむ英語の絵本と歌」

—ハロウィンの絵本と歌—

講師：マーガレット・グラント（朝日カルチャーセンター東京英語講師）

場所：大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間：12:45～14:15



平成 23 年 2 月 26 日

英語であそぼう！ 「親子で親しむ英語の絵本と歌」

—St. Patrick's Day の絵本と歌—

講師：マーガレット・グラント（朝日カルチャーセンター東京英語講師）

場所：大妻女子大学 A 棟 357 教室

時間：12:45～14:15



St. Patrick's Day の塗り絵をしたり、講師の指導でアイリッシュダンスをしたりして楽しみました。



---

平成 22 年度  
千代田学「立体的英語活動モデルの発信—共生社会の担い手を  
育成するための幼児英語活動プログラムの  
公表をめざして—」報告書

平成 23 年 3 月  
大妻女子大学短期大学部  
プロジェクト代表者 井上美沙子

---